



平成 25 年度
医学研究科 博士課程
学生募集要項

目 次

1. 建学の精神	1
2. ディプロマ・ポリシー	1
3. カリキュラム・ポリシー	1
4. アドミッション・ポリシー	1
5. 入学試験実施要領	2
6. 出願手続	7
7. 合格発表	8
8. 入学手続	8
9. 納入金	9
10. 経済的支援	9
11. 出願場所および試験場案内	10
12. 問い合わせ先	11
13. 医学研究科指導教員	12

個人情報の取扱いについて

出願においてお知らせいただいた個人情報(氏名、住所等)は本学におきまして入学案内、入学試験に関する業務を行うために利用します。

この業務の一部は、本学より当該業務の一部を委託した業者(以下、「受託業者」という)にて行います。業務委託に際し、個人情報の保護に関する契約を締結した受託業者に、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供する事があります。

詳細については、本学ホームページにてご確認ください。

<http://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/privacy/index.html>

< 出願書類請求先 >

・ 電話による申し込み

帝京大学資料請求センター  0120-123361

受付時間：9:00～22:00 (土日・祝日・年末年始も受け付けています)

・ インターネットによる申し込み

<http://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/material/index.html>

1. 建学の精神

帝京大学は、

「努力をすべての基とし、偏見を排し、幅広い知識を身につけ、国際的視野に立って判断ができ、実学を通して創造力および人間味豊かな専門性ある人材の養成を目的とする」

建学の精神を謳い、今日に至っている。

国際化時代といわれる今日、本学において建学の精神は、「実学」、「国際性」、「開放性」という三つの教育指針において具体的に示され、「自分流」という本学の教育の基本理念を支える柱となっている。

2. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

医学研究科博士課程の修了要件は、本大学院に原則として4年以上在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格したものに博士（医学）の学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

3. カリキュラム・ポリシー（教育体制）

医学研究科大学院生は、

- (1) 修了時まで必要とする科目を履修して、求められる単位を取得する。主科目を20単位以上、また、必修科目を6単位、副科目・共通科目を4単位以上履修する事が求められます。
- (2) 研究を行い、学位論文を提出してその審査および最終試験に合格する。
の2要件を完遂することが求められます。

4. アドミッション・ポリシー

建学の精神にもある「国際性、創造性、専門性」に則り、帝京大学大学院医学研究科は、高い研究能力をもつ医学系研究者の養成、優れた研究・診療能力を備えた医療系人材の養成により医学の発展に貢献することを目的としている。

そのために、

1. 国際的視野に立って医学研究への貢献を目指す人
2. 最先端医療技術の開発や修得および普及を目指す人
3. 研究に基づいて医療における課題決定を目指す人
4. 専門的知識を深く広く修得し診療に役立てたい人
5. 医学の専門分野から患者の福祉への貢献を志す人を求めています。

5. 入学試験実施要領

医学研究科【博士課程】(修業年限4年)

1. 募集専攻課程および募集人員

専攻課程名	専攻科目
第一基礎医学専攻	解剖学、生理学、生化学
第二基礎医学専攻	病理学、薬理学、微生物学(免疫学/医真菌学/宇宙環境医学を含む)
社会医学専攻	公衆衛生学、法医学
第一臨床医学専攻	内科学(呼吸器/循環器/消化器/代謝/内分泌/糖尿病/膠原病/腎臓/血液/感染症/腫瘍/心療内科)、神経学/神経内科学、小児科学、精神医学、皮膚科学、放射線医学、リハビリテーション医学、地域医療学、検査医学、緩和医療学
第二臨床医学専攻	外科学(総合/消化器/呼吸器・胸部外科/肝胆膵/乳腺/東洋医学/小児外科)、心臓血管外科、産婦人科学、脳神経外科学、整形外科学、形成・口腔顎顔面外科学、耳鼻咽喉科学、眼科学、泌尿器科学、麻酔科学、救急医学
計	入学定員 70名(社会人枠 若干名)

※出願者は、専攻課程および専攻科目を選び、入学願書の所定欄に記入して下さい。

2. 出願資格

- 大学の医学、歯学、修業年限6年の薬学・獣医学を履修する課程を卒業した者、または大学院修士課程を修了した者。【平成25年3月卒業(修了)見込の者を含む。】
- 外国において学校教育における18年の課程(最終の課程は医学または歯学)を修了した者。
- 文部科学大臣の指定により、大学を卒業した者と同等以上の学力が認められた者。
- 本大学院が個別の入学資格審査により、上記(1)の大学の課程を卒業した者と同等またはそれ以上の学力があると認めた者で24歳(平成25年4月1日現在)に達する者。

※出願資格についての個別審査を希望する者については、板橋キャンパス事務部教務課大学院医学研究科担当(11頁「12. 問い合わせ先」参照)までお問い合わせ下さい。

- (1)~(4)に該当する者で社会人枠に受験希望の者は、本学医学部に勤務しており、入学後もその身分を有する者(研修医を含む)。※第一基礎医学・第二基礎医学専攻および社会医学専攻へ出願する者に限り、初期研修医も認める。

3. 出願期間・試験日・合格発表日・入学手続期間・出願場所・試験場

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間	出願場所	試験場
第1回	平成24年 9月3日(月)) 9月24日(月)	平成24年 9月29日(土)	平成24年 10月5日(金)	平成24年 10月9日(火)) 10月15日(月)※	帝京大学 板橋 キャンパス 事務部 教務課 大学院医学 研究科担当 (大学棟本館2階)	帝京大学 板橋 キャンパス
第2回	平成25年 1月21日(月)) 2月12日(火)	平成25年 2月16日(土)	平成25年 2月22日(金)	平成25年 2月25日(月)) 3月4日(月)※		

※指定された期間内に入学手続き（振り込み手続）を行わなかったときは、入学の意思がないものとみなし入学許可を取り消します。

4. 出願書類

a. 入学願書	本学大学院医学研究科指定のもの。
b. 成績証明書	出身大学の成績証明書。本学医学部卒業(見込)者は除く。
c. 卒業(見込)証明書	出身大学の卒業(見込)証明書。本学医学部卒業(見込)者は除く。
d. 大学院修士課程 修了(見込)証明書	出願資格(1)(2)の修士課程修了者のみ。
e. 大学院成績証明書	出願資格(1)の修士課程修了者のみ。
f. 在学(在籍)証明書	出願資格(1)の修士課程修了者のみ。
g. 修得単位数証明書	出願資格(1)の修士課程修了者のみ。
h. 研究に従事したことの 証明(在職証明書)	出願資格(1)~(4)の中で2年以上研究に従事した者のみ。 研究期間、身分、大学・研究所等の名称、大学・研究所等の責任者の氏名が明記されており、大学・研究所等の責任者の公印もしくは自署サイン(外国の場合)が付されていること。
i. 研究期間中の業績目録	出願資格(1)~(4)の中で2年以上の研究に従事した者で業績目録がある者。 1. 業績は、著述業績と学会発表の2種類に分け、おのおのについて目録を作成する。 2. 書式は特に定めないが、日本工業規格A4版の紙を用い、1頁あたり5件となるよう記載すること。 3. パソコンまたはワープロ打ちに限る。 4. 各頁ごとに、自署氏名、捺印を付すること。
j. 研究期間中に発表した 論文1編	出願資格(1)~(4)の2年以上の研究期間中に発表した論文が1編以上ある者。 1. 別刷1部を提出のこと。 2. 原則として、日本語または英語の論文とする。 3. 出願者が、当該研究期間中に発表した論文のうちで最も主要なものとする。
k. 臨床研修修了 (見込)証明書	第一臨床医学および第二臨床医学専攻出願者のみ。 ただし、本学医学部附属の3病院において臨床研修を修了(見込)の者は、省略してよい。
l. カラー写真2枚	縁なしで縦4cm×横3cmを2枚(正面、上半身のもので出願前3ヵ月以内に撮影したもの)。入学願書および保管票に貼付。裏面に氏名および専攻科目を記入すること。

※社会人枠においては、次の①~⑤の書類も提出すること。

- ① 受験許可書(本学所定用紙で現勤務先の受験許可書。)
- ② 勤務証明書(平成25年4月以降も勤務予定の証明。)
- ③ これまでの研究活動内容と今後の抱負
(所定の用紙にこれまでの研究活動歴および内容または今後の抱負内容を記入すること。)
- ④ 研究計画書(所定の用紙に今後の研究計画を記入すること。)

⑤ 業績一覧

(所定の用紙に学会発表、学術論文、著者等これまでの業績を記入すること。業績がない場合は、その旨記入すること。)

※証明書と志願者の氏名の表記が異なる場合は、本人であることを証明する書類（戸籍抄本）を提出して下さい。

※外国語で作成されている書類には、必ず公的機関等発行の日本語の翻訳を添付して下さい。

出願者は、出願書類提出以前に、志望する専攻科目の指導教員の了解を得て下さい。

なお、指導教員とは12頁以降「13. 医学研究科指導教員」に記載されている教員に限ります。

入学願書に当該指導教授の承認印をもらって下さい。

5. 入学検定料

35,000円（納付方法については、7頁「6. 出願手続」を参照して下さい）

6. 選考方法（試験の内容および時間割）

時 間	時間割および試験内容
9:45	試験室入室時刻（この時刻までに試験室に入室して下さい）
9:50～10:00	受験上の注意
10:00～11:30	外国語筆答試験（英語） 辞書持ち込み可※
11:40～	口述試験（口述試験の終わった者から順次解散）

※外国語筆答試験に持ち込むことができる辞書とは英和辞書および医学用語に関する英和辞書とする。ただし、電子式の辞書は持ち込みを禁じます。

7. 試験場

帝京大学板橋キャンパスにて試験を行います。受験者は指定された試験室へ9:45までに入室して下さい。※試験室は、当日大学棟本館1階入口に掲示しますので確認して下さい。

8. 受験上の注意

- ① 試験当日は必ず受験票を持参してください。受験票がない者は受験できません。試験当日、忘れ、紛失等で手元に受験票がない場合は、本人確認書類（学生証、運転免許証等）を持参のうえ、試験場内の板橋キャンパス事務部教務課医学部担当へ申し出てください。
- ② 試験中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となります。
- ③ 不正行為者には退室を命じ、失格とします。
- ④ 試験場及び試験室において、他の受験生に迷惑となるような行為を禁止します。
- ⑤ 受験票は、休憩時間など試験室の外に出る際には必ず携帯してください。
- ⑥ 机上に置けるものは受験票・鉛筆（シャープペンシルを含む）・消しゴム・鉛筆削り（電動式を除く）・時計（計時機能だけのもの）・眼鏡・辞書（指定科目のみ）です。これ以外の所持品を置くことは認めません。アラームや時報機能のついた時計は試験室に入る前に必ず設定を解除してください。

- ⑦ 筆記用具・腕時計の貸借は一切禁止します。忘れずに持参してください。
- ⑧ 定規・コンパス・翻訳機・計算機は使用できません。
- ⑨ マスク、ハンカチ、ティッシュペーパー、ひざかけ、目薬等の使用を希望する者は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。
- ⑩ 「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
- ⑪ 試験に必要なもの、かばん等に入れて椅子の下に置いてください。
- ⑫ 携帯電話・PHS・院内モバイル・携帯音楽プレーヤー等は必ずアラームを解除し、電源を切っ
てかばん等に入れてください。これらを時計として使用することはできません。試験時間中に
携帯電話を身につけていることがわかった場合、失格となります。なお、試験時間中にかばん
等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合には、監督者が本人に了解
を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、事務所で保管する場合があります。
- ⑬ 試験時間内の答案提出、退室は認めません。試験中の発病等やむを得ない場合は、手を挙げて
監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも試験室以外での受験
はできません。また、一時退室をした場合の試験時間の延長は認めません。なお、試験終了時
刻に試験室に戻っていない場合は失格となります。
- ⑭ 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打ち合わせな
ど、自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電
話や時計等の短時間の鳴動、証明の点滅、周囲の建物のチャイム音・周囲の工事音など）が発
生した場合でも救済措置は行いません。
- ⑮ 口述試験の開始時刻は変更することがありますので、当日の掲示を参照してください。
- ⑯ 試験終了後、忘れ物がないか確認してから退室してください。忘れ物をした場合は、板橋キャン
パス事務部教務課大学院医学研究科担当までご連絡ください。(11頁「12. 問い合わせ先」
参照)
- ⑰ 受験票は合否に確認の際に必要となりますので、必ず持ち帰り、大切に保管してください。
- ⑱ 試験室はすべて禁煙です。喫煙は指定された場所をお願いします。

9. 遅刻について

試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。但し、試験時間の延長は認めません。

試験当日、天候不良や事故・地震等により公共の交通機関に乱れが生じている場合でも、試験場に向かってください。(その日のうちに必ず入学試験が行われるものと理解してください)
なお、大幅な遅延が予想される場合(試験開始時刻より30分以上遅れそうな場合)は、帝京大学板橋キャンパス事務部教務課大学院医学研究科担当に連絡をして指示を受けてください。
主要公共機関(バス・車の渋滞等は除く)の乱れにより、多数の受験生が試験開始時刻に間に合わないとは本学が判断した場合のみ、試験開始時刻を遅らせることがあります。

6. 出願手続

1. 入学検定料

35,000円

2. 入学検定料の納付方法

本学所定の振込依頼書で出願期間内に最寄りの金融機関より振り込んで下さい（ただし、ゆうちょ銀行もしくは郵便局は除きます）。なお、振り込み時にATM（現金自動預入支払機）や、電話、インターネット等の通信による振り込みはできません。取扱金融機関の収納印を所定の3カ所に必ず受けて下さい。

3. 出願方法

郵送する場合（締切日必着）

出願書類（願書等には、金融機関の収納印を受けたもの）を「大学院出願書類在中」の封筒に入れ、必ず郵便局から「書留」で郵送して下さい。

※郵便局が発行する「書留郵便物受領証」は大切に保管して下さい。

※出願は**締切日必着**です。締切日の消印有効ではありません。

大学窓口に持参する場合

出願書類（4頁参照）を「大学院出願書類在中」の封筒に入れて提出して下さい。受験票は後日郵送します。

【提出先】 帝京大学 板橋キャンパス事務部教務課大学院医学研究科担当(大学棟本館2階)
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1

(10頁「11. 出願場所および試験場案内」参照)

【受付時間】 平日：8:45～16:45

土曜日：8:45～12:00

※出願期間以外の受け付けは行いません。

※日曜・祝日、および年末年始（12/29～1/3）の事務取扱はいたしません。

4. 受験票

- ① 受験票は出願時に受験者本人が記入した受験票の宛先に郵送します。
- ② 試験日の2日前までに受験票が届かない、または受験票を紛失・汚損した場合は、帝京大学板橋キャンパス事務部教務課大学院医学研究科担当まで申し出て下さい。

5. 注意事項

- ① 出願書類に不備があった場合は、受理いたしません。
- ② 提出された出願書類および入学検定料は、返還いたしません。
- ③ 出願後は、いかなる理由があっても書類・専攻科目の変更は認めません。
- ④ 入学決定後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。

7. 合格発表

1. 発表方法

- ① 合格者には合格発表当日、願書に記入した結果通知場所に本人宛で、入学許可書および入学手続きに必要な書類を速達で郵送します。
- ② 不合格者には合格発表当日、結果を知らせる文書を普通郵便で郵送します。

2. 注意事項

- ① 合否通知の発送から到着までに数日を要する場合がありますのでご了承下さい。
- ② 大学構内での掲示、電話による合否照会システムを使った発表は行いません。
- ③ 受験者本人によるものであっても、電話による合否の照会には一切お答えいたしません。

8. 入学手続

1. 手続き方法

- ① 合格者には、入学許可書と一緒に「入学手続要項」を送付します。入学手続は「入学手続要項」にそって行ってください。本学生募集要項に記載された事柄と「入学手続要項」との間に、変更による相違が生じる場合があるので、その場合は本学生募集要項の記載にかかわらず、「入学手続要項」に記載された事柄により入学手続を行って下さい。
- ② 納入金は本学所定の振込依頼書を使用し、志願者本人の名前にて金融機関の窓口から振り込んでください。

ATM、携帯電話、パソコン等からの振り込みはできません。

ゆうちょ銀行から納入金を振り込む場合は、現金による振り込みはできません。ゆうちょ銀行口座の「通帳と届出印」または「キャッシュカード」が必要です。詳細につきましては、ゆうちょ銀行または郵便局にお問い合わせください。

※本人確認手続きに関する法令により、金融機関において10万円を超える現金による振り込みをされる場合には、本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）の提示が必要となります。詳しくは振り込みを依頼する金融機関にお問い合わせください。

- ③ 納入金は入学手続期間内に振り込んで下さい（金融機関領収印は締切日当日まで有効）。期日までに振込手続を完了しない場合は入学の意思がないものとみなし、入学許可を取り消します。
- ④ 入学手続に必要な提出書類については、「入学手続要項」に従って指定の期限内に提出して下さい。※入学手続完了後でも、入学資格がないことが判明した場合には、入学許可を取り消します。

2. 入学辞退

- ① 納入金の手続き完了後に、入学辞退を希望し、平成25年3月31日（日）12:00までに申し出た場合には入学金を除く金額を返還します。

【連絡先】 帝京大学入試センター 入学辞退受付専用ダイヤル：03-3962-9609

【受付時間】 [月曜～金曜] 8:30～16:00 [土曜] 8:30～11:00

[平成25年3月31日] 8:30～12:00

※祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く

9. 納入金

- ① 本学卒業者・本学以外卒業者とも、下表の金額の通りです。
- ② 入学手続き時に一括で納入して下さい。
- ③ 学生教育研究災害傷害保険料の金額が変更になる場合があります。「入学手続要項」に変更の内容を掲載しますので、それに従って納入して下さい。

	学 内 (帝京大学医学部出身者)	学 外	公衆衛生学 研究医養成コース*
入学金	200,000 円	300,000 円	200,000 円
授業料実験実習費	650,000 円	650,000 円	550,000 円
施設拡充費	200,000 円	200,000 円	200,000 円
学研災保険料 (4年分)	3,300 円	3,300 円	3,300 円
初年度納入金額 (合計)	1,053,300 円	1,153,300 円	953,300 円

*本学の平成22年度以降の医学部4年生で、本学医学部・大学院医学研究科一貫プログラムによる公衆衛生学研究医養成コースを履修する者であり、平成25年4月から開始する。

10. 経済的支援

1. 奨学金

- ① 帝京大学大学院医学研究科（臨床系）奨学金制度

大学院医学研究科博士課程 第一臨床医学専攻・第二臨床医学専攻に在学し、定期的（4.5日/週）に診療に従事する大学院生を対象とし、月5万円を支給する。

（年間最大60万円まで、最長3年間受給可能。）

※社会人枠は、対象外。

- ② 帝京大学大学院医学研究科海外留学生奨学金制度

指導教授の認める場合に限り、学費（授業料および入学金）を全額免除もしくは一部減免する。

※社会人枠は、対象外。

2. 帝京大学大学院医学研究科ティーチングアシスタント (TA) 制度

医学部または医療技術学部に対する実験、実習、演習等の教育補助業務および学生指導を行う第一基礎医学・第二基礎医学・社会医学を専攻する大学院生を対象とし、時給1,600円を支給する。
(年間最大60万円まで、最長2年間受給可能。)

3. 帝京大学大学院医学研究科リサーチアシスタント (RA) 制度

本学教員が指導するプロジェクト等、各種研究活動を補助する第一基礎医学・第二基礎医学・社会医学を専攻する大学院生を対象とし、時給1,600円を支給する。
(年間最大60万円まで、最長2年間受給可能。)

※奨学金・TA/RA制度の同時併用は不可。TA/RA制度は初期研修医は対象外。

※詳細については担当(11頁「12. 問い合わせ先」参照)までお問い合わせください。

11. 出願場所および試験場案内

出願場所：帝京大学板橋キャンパス事務部教務課大学院医学研究科(大学棟本館2階)

試験場：帝京大学板橋試験場(帝京大学板橋キャンパス)

帝京大学までの案内図(徒歩)



JR埼京線十条駅北口下車 徒歩約10分

※試験場へは公共の交通機関をご利用ください。

12. 問い合わせ先

帝京大学板橋キャンパス事務部教務課大学院医学研究科担当

住 所 〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1

電 話 03-3964-3294 (直通)

F A X 03-3964-8396

メ ー ル gakui@med.teikyo-u.ac.jp

受付時間 平 日 : 8:45~16:45

土曜日 : 8:45~12:00

※日曜・祝日、および年末年始(12/29~1/3)は除く

13. 医学研究科指導教員

平成24年7月現在

主科目・副科目名	指導教員
解剖学	教授 萩原 治夫
生理学	教授 桜井 正樹
	教授 工藤 雅治
生化学/ 臨床医化学	教授 岡崎 具樹
	准教授 飯塚 眞由
病理学 - 1	教授 福里 利夫
	教授 宇於 崎 宏
	教授 近藤 福雄
	教授 石田 康生
	教授 川本 雅司
	准教授 高橋 芳久
	准教授 笹島 ゆう子
薬理学	教授 中木 敏夫
微生物学/免疫学	教授 斧 康雄
微生物学/ 医真菌学	教授 安部 茂
	教授 楨村 浩一
微生物学/ 宇宙環境医学	教授 楨村 浩一
公衆衛生学	教授 矢野 榮二
	教授 中尾 睦宏
法医学	教授 野上 誠
内科学・ 呼吸器系 - 1	教授 山口 正雄
	准教授 長瀬 洋之
内科学・ 呼吸器系 - 3	教授 本間 敏明
	准教授 萩谷 政明

主科目・副科目名	指導教員
内科学・ 循環器系 - 1	教授 一色 高明
	准教授 上妻 謙
内科学・ 循環器系 - 2	教授 村川 裕二
	准教授 速水 紀幸
内科学・消化管系	教授 久山 泰
	教授 滝川 一
内科学・ 消化器肝臓系 - 1	教授 滝川 一
	教授 久山 泰
	教授 田中 篤
内科学・ 消化器肝臓系 - 2	准教授 菊池 健太郎
内科学・代謝系	教授 寺本 民生
	教授 木下 誠
	准教授 石川 敏夫
内科学・内分泌系	教授 岡崎 亮
	准教授 片上 秀喜
	准教授 井上大輔
内科学・ 糖尿病内分泌系	教授 冲永 寛子
	教授 江藤 一弘
	教授 藤森 新
	教授 木下 誠
	准教授 石川 敏夫
内科学・ 代謝膠原病系	教授 藤森 新
	准教授 河野 肇

主科目・副科目名	指導教員
内科学・ 腎臓系-1	教授 内田 俊也 准教授 種本 雅之
内科学・ 腎臓系-2	教授 松井 克之
内科学・ 血液系-1	教授 白藤 尚毅 教授 川杉 和夫 准教授 秋山 暢
内科学・ 血液系-2	教授 吉田 稔
内科学・ 血液系-3	教授 小松 恒彦
内科学・感染症系	教授 太田 康男
臨床腫瘍学・ 内科系	教授 江口 研二 准教授 関 順彦
緩和医療学	教授 有賀 悦子
心療内科学	教授 中尾 睦宏
神経学/ 神経内科学-1	教授 園生 雅弘 教授 松村 喜一郎
神経学/ 神経内科学-2	教授 尾野 精一
小児科学	教授 菊地 陽 准教授 星 順 准教授 小川 英伸 准教授 小林 茂俊
精神医学	教授 池淵 惠美
皮膚科学	教授 渡辺 晋一 准教授 大西 誉光 准教授 神田 奈緒子

主科目・副科目名	指導教員
放射線医学-1	教授 古井 滋 准教授 大場 洋 准教授 神長 達郎 病院 准教授 神武 裕 病院 准教授 竹下 浩二 病院 准教授 豊田 圭子
放射線医学-2	教授 多湖 正夫
放射線医学-3	教授 大久保 敏之 准教授 和田 昭彦
リハビリ テーション医学	教授 栢森 良二 准教授 伊佐地 隆
検査医学	教授 古川 泰司
地域医療学	教授 井上 和男
外科学・総合	教授 池田 正 他
外科学・ 上部消化管系	教授 福島 亮治 准教授 稲葉 毅 准教授 池田 佳史
外科学・ 下部消化管系-1	教授 橋口 陽二郎 准教授 松田 圭二
外科学・ 下部消化管系-2	教授 杉山 保幸 准教授 勝又 健次
外科学・ 下部消化管系-3	教授 幸田 圭史
外科学・肝胆膵系	教授 佐野 圭二 准教授 天野 穂高 准教授 三浦 文彦
外科学・呼吸器系	教授 川村 雅文

主科目・副科目名	指導教員
外科学・ 心臓血管系	教授 下川 智 樹
	教授 重田 治
外科学・ 乳腺系-1	教授 池田 正
外科学・ 乳腺系-2	准教授 鈴木 正 人
外科学・血管外科	准教授 新見 正 則
外科学・ 移植免疫系	
外科学・ 東洋医学系	
外科学・ 小児外科系	准教授 小川 富 雄
整形外科学-1	教授 松下 隆
	教授 中村 茂
	教授 中川 匠
	准教授 阿部 哲 士
	准教授 渡部 欣 忍
	准教授 小林 誠
整形外科学-2	教授 和田 佑 一
	教授 豊根 知 明
	准教授 神川 康 也
	准教授 渡辺 淳 也
産婦人科学	教授 冲永 惠津子
	教授 綾部 琢 哉
	教授 梁 善 光
	教授 西井 修
	准教授 梁 栄 治
	准教授 五十嵐 敏 雄
脳神経外科学	教授 中込 忠 好
	准教授 古屋 一 英
	准教授 上野 俊 昭

主科目・副科目名	指導教員
耳鼻咽喉科学-1	教授 伊藤 健
耳鼻咽喉科学-2	教授 鈴木 雅 明
眼科学-1	教授 溝田 淳
	准教授 根本 裕 次
	准教授 篠田 啓
眼科学-2	教授 石田 政 弘
泌尿器科学-1	教授 堀江 重 郎
	准教授 武藤 智
	准教授 井手 久 満
	准教授 山口 雷 蔵
泌尿器科学-2	教授 関根 英 明
	教授 石坂 和 博
泌尿器科学-3	教授 納谷 幸 男
	准教授 内田 聡 子
麻酔科学	教授 澤村 成 史
	教授 福田 悟
	教授 中田 善 規
	教授 澤 智 博
	准教授 高田 眞 二
形成・ 口腔顎顔面外科学	教授 平林 慎 一
	教授 福積 聡
	准教授 権太 浩 一
	准教授 市ノ川 義 美

主科目・副科目名	指導教員
救急医学 - 1	教授 坂本 哲也 病院教授 新藤 正輝 准教授 池田 弘人 准教授 安心院 康彦 病院准教授 佐川 俊世 病院准教授 黒住 健人
救急医学 - 2	教授 福家 伸夫 教授 志賀 英敏



2008.4-2015.3

帝京大学は財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、「同機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定されました。

帝京大学大学院 医学研究科
帝京大学板橋キャンパス 事務部教務課 (大学院医学研究科担当)
〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1
電話：03-3964-3294